

東北次世代がんプロ養成プラン 共催セミナー実施報告書

(本報告書は東北次世代がんプロ養成プラン HP へ掲載させていただきます)

セミナー名称：オンライン・ピアサポートのヒント～開催の準備から実際まで～ 講演者：桜井なおみ氏 所属：一般社団法人 CSR プロジェクト
1. 担当分野
がん看護学分野・緩和ケア看護学分野
2. 実施年月日
令和4年9月1日
3. 開催場所・開催方法
オンライン (zoom)
4. 関連分野・領域
AYA 世代、ピアサポート、がん看護、緩和ケア看護
5. 対象者
医療従事者、患者会で活動・ピアサポートされている方など
6. 参加者について
参加者合計人数：41名 オンライン開催であり、氏名の報告を求めなかったため、以下は申込時(57名)の内訳である。 〔 学内参加者数：3名(看護師3名) 学外医療者数：32名 (医師1名、薬剤師2名、看護師26名、MSW1名、相談員2名) ピアサポーター数：7名 がん体験者数：8名 その他数：7名
7. 成果
今回の講演会は、コロナ禍のためオンラインシステムを利用した講演会となった。講演者は、がんになっても皆が幸せに働くことができる社会づくりに取り組んでいる。その一環として就労ほっとこーるといったオンライン相談や働くがん患者のためのピアサポートを開催している。現在のピアサポートはオンライン・サバイバーシップ・ラウンジとして運営している。そのオンライン・ピアサポートの開催準備の実際から実施までについてご講演いただいた。 講演ではピアサポートの役割、効果、オンラインにおいてピアサポート役割を發揮するための方法について説明があった。準備段階ではトラブルに備えた方が一の連絡手段を設定や、対象者との質疑応答方法の実際、運営段階では運営ルールの参加者への説明、リアクションの留意点、支援の終わり方といった具体的な方法が示された。 参加者との質疑応答では、オンラインでのピアサポートで苦情が来た場合の対応、画面はオンとオフのどちらにしておくべきか、オンライン上での「沈黙」をどのように捉えるかといった具体的な運営上の質問があり、講演者より実践した具体例の提示があった。実際に開催を予定しているピアサポートにおいて運営の注意点を具体的に知ることができ参考になったという意見が多く聞かれた。